

在留邦人の皆様へ

在サウジアラビア日本国大使館

バーレーンにおけるテロ関連情報に関する注意喚起

7月2日、在バーレーン大使館は以下のとおり、テロ関連情報に伴う注意喚起のお知らせを発出しましたので、週末バーレーン渡航・滞在される方は十分注意してください。

《テロ関連情報》

1. バーレーン現地紙が「ISIL幹部（バーレーン人）が次の金曜日（7月3日）にバーレーンで、クウェートの様なテロが起こる」との声明を発したと報じている件に関し、本日、我が国外務省は「スポット情報～バーレーン：モスクに対するテロの脅威に関する注意喚起～」を発出しました。

以下のホームページ

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo.asp?id={%countrycd%}&infocode=20150193>

からご確認頂けます。

2. 皆様には、シーア派地区に近づかないようお知らせしていますが、大通りや一般市街地においてもシーア派のモスクがありますので、近くを通行しなければならない際には、十分注意してください。以下は、邦人がよく利用する道路や施設の近くにあるシーア派のモスクです。

（1）マナーマ・スーク内には複数のシーア派モスクがあります。

（2）ラアス・ランマーン・モスク(Ras Rumman Mosque, Block 306, Manama) は、英国大使館の近くにあります。

（3）イーサ・タウン・南モスク(Isa Town South Mosque) は、イーサ・タウンのシャイク・サルマン・ハイウェイから見えます。

（4）イマーム・サーディク・モスク(Imam Sadiq Mosque, Daily QueenやWater Gardenの近く)は、マナーマのシェイク・サルマン・ハイウェイ脇にあります。

※以上が全てではありません。具体的な場所は、地図検索サイト等でご確認ください。

※一般に、シーア派のモスクは「壁面に青いモザイクがある」のが特徴です。

3. 皆様におかれましては、

○ 事件や不測の事態に巻き込まれることのないように最新の情報入手に努めるとともに、緊急時の連絡手段を確保してください。

○ 今後もシーア派地区内に立ち入ることは、昼夜を問わず避けてください。特に礼拝中のモスク、宗教行事中の集会所（マアタム）のように、テロの対象となり得る場所に

は近づかないでください。

○ シーア派地区に限らず、治安当局による警戒強化のため、検問や職務質問（身分確認や所持品検査等）が随所で行われ、それに伴う渋滞や混乱も予想されますので、ご注意ください。

○ ショッピングモール、ホテル、観光施設、市場等不特定多数が集まる場所に行く際には、周囲の状況に注意を払い、「爆発音を聞く」「煙を見る」「人が多数集まっている」ほか不審な状況を察知したら、直ちにその場を離れるなど、安全確保に十分注意を払ってください。

（以 上）